

広報

おかや

No.1301

2008

1月号



武井武雄 キンダーブック1962年1月号（お正月）

武井武雄は「子どもの心にふれる絵」の創造をめざして、自ら『童画』という言葉を生み出し、大正から昭和にかけて童画、版画、刊本作品、余技作品などさまざまな分野で活躍し、いつも探求心をもって生涯挑戦を続けました。

みなさんは、今年何に挑戦しますか。平成20年がみなさんにとって良い年であることをお祈り申し上げます。

主な内容

年頭のごあいさつ	2
防災とボランティアパーク	4
新春座談会	6
みんなのページ	14
社協だより	16
インフォメーション(おしらせ)	20
くらしのカレンダー	26
岡谷寒うなぎまつり	32



年頭のごあいさつ

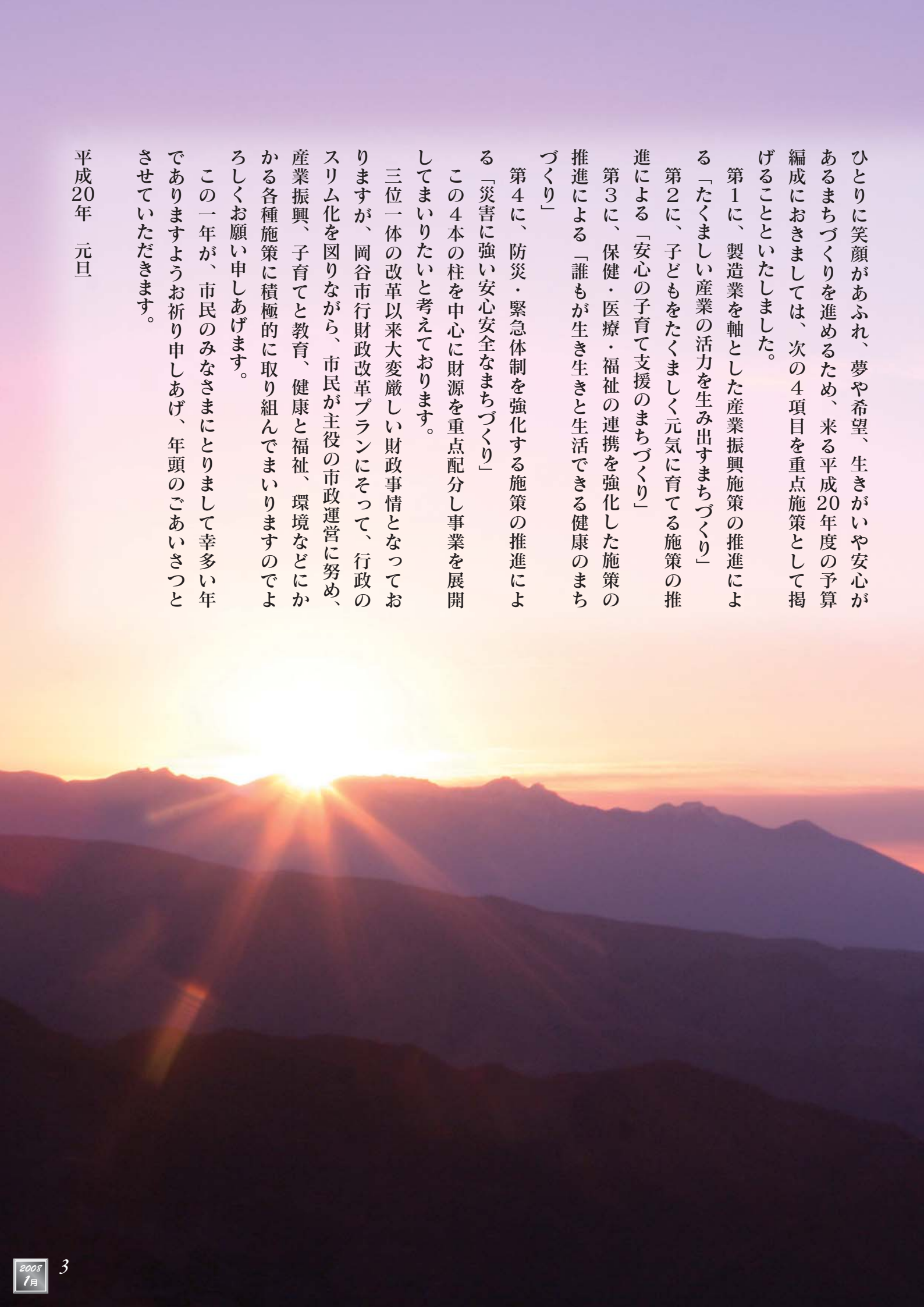
岡谷市長 今井 竜五

新年あけましておめでとうございます。

市民のみなさまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から岡谷市政に対しまして格別なご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

私は、昨年9月の市長就任以来、全力を傾注して市政の推進にあたってきましたが、新年にあたり、市政の更なる躍進のため先人の方々が築かれてきた歴史と実績を受け継ぎ、「人、輝き たくましいまち岡谷」の実現に向けて、なお一層邁進してまいりたいと決意を新たにしているところでございます。

自立した地方都市として「産業の活力がたくましく輝くまち岡谷」の将来像をしっかりと見据え、市民一人



ひとりに笑顔があふれ、夢や希望、生きがいや安心があるまちづくりを進めるため、来る平成20年度の予算編成におきましては、次の4項目を重点施策として掲げることといたしました。

第1に、製造業を軸とした産業振興施策の推進による「たくましい産業の活力を生み出すまちづくり」

第2に、子どもをたくましく元気に育てる施策の推進による「安心の子育て支援のまちづくり」

第3に、保健・医療・福祉の連携を強化した施策の推進による「誰もが生き生きと生活できる健康のまちづくり」

第4に、防災・緊急体制を強化する施策の推進による「災害に強い安心安全なまちづくり」

この4本の柱を中心に財源を重点配分し事業を展開してまいりたいと考えております。

三位一体の改革以来大変厳しい財政事情となっておりますが、岡谷市行財政改革プランにそって、行政のスリム化を図りながら、市民が主役の市政運営に努め、産業振興、子育てと教育、健康と福祉、環境などにかかる各種施策に積極的に取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

この一年が、市民のみなさまにとりまして幸多い年でありますようお願い申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

平成20年 元旦